（別紙４（２））

事業所名　友楽苑

目標達成計画

作成日：　平成２４年１月１６日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組みについては現状開催の少なさ、また会議内容が不十分である。	メンバー構成を見直し、事業所との信頼関係を構築する。	新年度から、運営推進会議委員を設置し、不十分であった議題内容を見直し、第三者の意見を活かした事業所を行っていきたい。	6ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援については、職員の意識も高くなっている。しかし具体的な方針は挙げられていない。利用者自身、家族の意向を尊重しながら、混乱なく対応を行う必要がある。	心身の状況を察知し、日頃からのアセスメントを行う。また、家族様との密な関係をとり、家族様にも安心をもって頂けるような、体制を構築する。	職員の終末期については、周知されている。そこからどういった取り組みを行うべきか。医療や家族との思いや、利用者の主訴を大切にし、常に考えるべき項目として、勉強していきたい。	6ヶ月
3	45	入浴を楽しむ支援については、施設的な行動パターンになっていた。	利用者個々の習慣を大切にし、夜間入浴もできる環境作りを実施し、いつでも入浴できるといった安心を持って頂く。	介護現場の職員体制を見直し、利用者の望む入浴時間の確保を行い、毎日ではないが、出来るだけ希望に添えるように、行っていきたい。また、実際夜間入浴取り組んでいる。このことを、習慣化していきたい。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。